

次回展



恋せよ乙女! パープルーム大学と 梅津庸一の構想画

会期：2017年6月1日(木)－18日(日)



パープルーム予備校公式アー写 撮影：菊池良助

出展作家：

小林 椋
鋤柄ふくみ
予定と卵
坂本夏子
フナイタケヒコ
三瀬夏之介
泰平
宮下大輔
urauny
平山昌尚
3回目のゲルゲル祭
qp
梅津庸一
超エッチ+
小宮麻吏奈
リスカちゃん
荒木悠
村田冬実
KOURYOU

パープルーム予備校生：

安藤裕美
アラン
智輝

授業 / 講師：

黒瀬陽平
平倉圭
三瀬夏之介
筒井宏樹
柴田英里
泰平
上妻世海

他

パープルーム大学開校！

SNSを通じて全国から集まった若者が共同生活を営む私塾パープルーム予備校は、ネット空間から絵画空間、批評空間までを行き来する古さと新しさをあわせ持つ美術の共同体「パープルーム」の活動拠点です。本展は数百点に及ぶ様々なタイプの作品やその副産物、関連資料によってパープルームを網羅的に紹介します。

また通常の展覧会と異なり、会期中ずっとパープルームの作家たちが会場で生活し、何かを生み出したり、突発的なレクチャーが催されたりと絶え間なく何かが起こり続けます。

ワタリウム美術館がパープルーム大学と化す2週間。 パープルーム HP <http://www.parplume.jp>

休館日：月曜日 開館時間：11時より20時まで *本展は通常より1時間延長して開館いたします。(毎週水曜日は21時まで延長)

入館料：大人1,000円 / 学生(25歳以下)800円 / 小・中学生500円 / 70歳以上の方700円

ペア割引：大人2人1,600円 / 学生2人1,200円

主催 / 会場：ワタリウム美術館 〒150-0001 東京都渋谷区神宮前3-7-6

Tel:03-3402-3001 Fax:03-3405-7714 E-mail:official@watarium.co.jp <http://www.watarium.co.jp>

WATARI-UM
The Watari Museum of Contemporary Art



梅津庸一そしてパーブルーム

1982年山形県生まれの梅津庸一は日本における近代洋画と現在のわたしたちとの関係を探求している美術家である。梅津は日本に美術という制度が生じた地点に何度も立ち返り、他者を自らに憑依させ生き直す。しかしながらそれは本気なのかそれとも近代の偶像を嘲笑しているか判別し難い。これまで突き詰めて試みられてこなかった類いの領域や絵画言語を議論の俎上に載せ可視化すること、またそれらを提出すべき芸術院が破綻した現在に於ける美術家の在り方を身をもって提案しようとしている。

梅津が自宅で主宰するパーブルーム予備校はその実践の現場である。数年間、老人介護施設の夜勤の介護職員として働きながら練り上げたパーブルーム予備校は単なる美術教育の実験場ではなく家族やジェンダー、老いという問題こそを注視している。

パーブルーム予備校にはSNSなどを窓口全国から若者が集まり共同生活を営みながら美術と共同体の関係を模索している。19世紀のフランスがたまたま芸術大国だったことから日本はそこからアートという制度を移入したが150年のうちにそれは社会制度にすっかり取り込まれてしまった。パーブルーム予備校はもう一度自分たちの手に負える規模でエコノミカルに美術をやり直そうと試みている。

そんなパーブルームがワタリウム美術館を2週間占拠し、「パーブルーム大学」が蟻塚のタワーのように立ち上がる。パーブルーム大学とは展覧会場、学校、アトリエ、生活空間を兼ねる場であり期間中は連日授業が催される。

かつて黒田清輝は日本に「構想画」という概念を根付かせようとしたがあまり上手くいかなかった。そもそも構想画という語に対応する概念が西洋には存在するのかすらあやしい。もし構想画が現在あり得るのだとしたらそれは洋画という体裁をとらないだろう。

それは一点の達成としてではなく出自や生息地の違うものたちの生態系の緩やかな連帯や継ぎ目を含めた地勢図としてバラバラなまま統合され出現する。

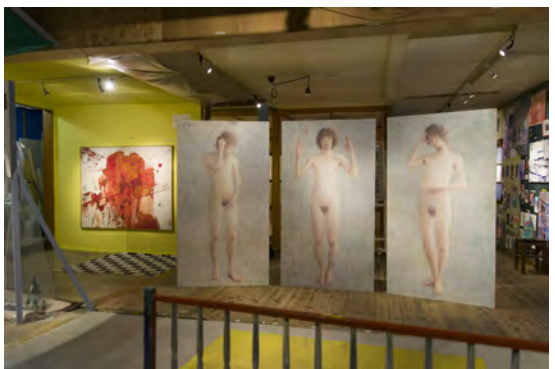
パーブルームとは構想画である。



梅津庸一 病気になった絵画、あるいは在宅介護 2016



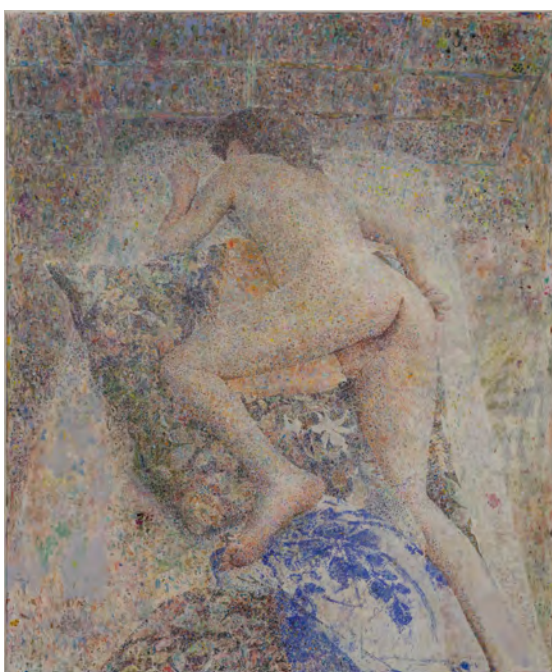
パーブルームHPより



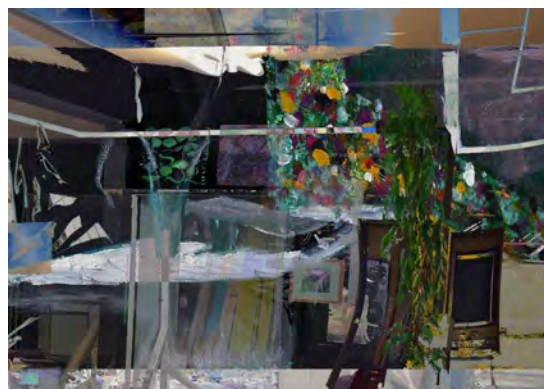
X会とパーブルーム 2016

展示内容

- 4階__梅津庸一 個展「視神経と鏡」
梅津庸一の自画像や
映像作品「春に向けてのエクササイズ」など
- 3階__パープルーム 「パープルームの蟻塚」
様々な感覚を要求してくる空間
- 2階__パープルーム 「パープルームとは構想画である」
絵画作品とパープルーム関連資料と
生活空間と教室
- 地下__パープルーム 「恋と蒙古斑と4室の装飾画」
壁面を神殿のような佇まいで埋め尽くす
パープルームの装飾画。



梅津庸一 死霊がわたしを見ている 2016



イメージビジュアル



パープルームのオプティカルファサード 2017

プロフィール：『パープルーム』

2013年に誕生した絵画に特化した美術の共同体。神奈川県相模原市にある私塾「パープルーム予備校」をその活動拠点とし、そこには多くの入塾希望者、作家や批評家、研究者などが訪れる。ウェブサイト「パープルームHP」、移動式の画廊「パープルームギャラリー」機関誌の役割を果たす「パープルームペーパー」、関連施設の「ゼリー状のパープルーム容器」、「パープルームプーボンボン」他に「パープルームクッキング」、「パープルームミーティング」など。

パープルームとは様々な水準の活動、事柄をまとめあげ横断する運動体の総称である。パープルームという語の由来は諸説あり、外光派(紫派)の部屋、バーチャルな馬、地球物理学のスーパーパープルームなど、未だに謎に包まれている。

授業内容

- 参加無料。観覧会入場券（未使用のもの）にて参加いただけます。
- 予約不要。○ 定員を超えた場合、参加者数を調整させていただく場合がございます。

6月1日(木) 18:00- 「パープルーム大学開校式」

登壇者：梅津庸一、黒瀬陽平、上妻世海、齋藤恵汰、パープルーム予備校生

登壇者プロフィール

黒瀬陽平（1983年生まれ。美術家、美術評論家。ゲンロンカオス*ラウンジ 新芸術校主任講師）

上妻世海（1989年生まれ。作家・キュレーター。主な展覧会に「Malformed Objects - 無数の異なる身体のためのプリコラージュ」）

齋藤恵汰（1987年生まれ。アーティスト。2008年にシェアハウス「洪家」を創設）

| 日付 時間：各回18:00より | タイトル | 講師／登壇者 |
|--------------------|---|-----------------------|
| 6月2日（金） | 泰平プレゼンツ 「ポスト・モダンからプレ・シンギュラリティへ - 疲弊から興隆への理性的移乗 I」 | 講師：泰平 |
| 6月3日（土） | 東北画とパープルーム - 構想画について - | 講師：三瀬夏之介 × 梅津庸一 |
| 6月4日（日） | 上妻世海による連続講義 「制作と二人称の哲学 - 宇宙遊泳の時代に」 第一回 制作と二人称の哲学序論 | 講師：上妻世海 |
| 6月5日（月） | 休館日 | |
| 6月6日（火） | 盤上遊戯は呪文や能力によっては打ち消されない。 | パープルーム予備校2期生 アラン |
| | ナビ派とパープルームについて | パープルーム予備校1期生 安藤裕美 |
| 6月7日（水） | 絵画をよむ | 講師：平倉圭 × 梅津庸一 |
| 6月8日（木） | 上妻世海による連続講義「制作と二人称の哲学 - 宇宙遊泳の時代に」 第二回 制作と芸術のリバースエンジニアリング | 講師：上妻世海 |
| 6月9日（金） | 美術の保健体育 | 講師：柴田英里 × 梅津庸一 |
| 6月10日（土） | 花粉はどこに飛ぶのか～構想画から共同体まで～ | 講師：黒瀬陽平 × 石岡良治 × 梅津庸一 |
| 6月11日（日） | 上妻世海による連続講義「制作と二人称の哲学 - 宇宙遊泳の時代に」 第三回 パースペクティブの交差交換 | 講師：上妻世海 |
| 6月12日（月） | 休館日 | |
| 6月13日（火） | 未定 | |
| 6月14日（水） | 未定 | |
| 6月15日（木） | 未定 | |
| 6月16日（金） | 泰平プレゼンツ「ポスト・モダンからプレ・シンギュラリティへ - 疲弊から興隆への理性的移乗 II」 | 講師：泰平 |
| 6月17日（土） | 地方の前衛芸術について | 講師：筒井宏樹 |
| 6月18日（日） | ときめき☆びじゅっこ会談2 | 登壇者未定 |

- 毎日開催（時間はランダム） 「智輝の音読」 パープルーム予備校3期生 智輝
- 毎週金曜 15:00～ 「パープルーム予備校説明会」
- 毎週日曜 15:00～ 「パープルームティーパーティー」